



やまぎし み 山岸はる美 議員

### 問 菜たねの作付状況と周知は

### 答 返礼品やアンテナショップで販路

#### 菜たね作付状況と周知

**議員** 遊休農地解消策として菜たねの作付面積と農家戸数の推移は。

**町長** 事業を開始した平成24年度は農家戸数5戸、112アールの作付面積だったが、6年度は18戸、571アールと増加している。

**議員** 菜たね油の商品としての販売利用状況は。

**町長** 収穫された菜たねは町が1キログラム当たり200円で買い取り、製品化している。製品化された菜たね油は300ミリリットルが660円、720ミリリットルが1540円で道の駅くずまき高原等での販売やふるさと納税の返礼品、イベントの抽選会の景品等で活用を図り、遊休農地解消対策のPRと販路拡大に取り組んでいる。



まちの駅くずまきで販売されているなあぶら

#### 移住・定住・永住の支援策

**議員** 快適な住まいづくり応援事業、水酸化普及支援事業の利用状況は。

**町長** 快適な住まいづくり応援事業は、30万円以上のリフォーム工事を町内事業者が行う場合、補助対象経費の3分の1、最大50万円分をくずまき商品券で交付している。事業開始から15年で利用実績644件、交付総額1億2700万円となっている。

**議員** 空き家バンクの登録件数と実績は。

**町長** 平成22年度の制度開始からの総登録物件が70件となっている。そのうち、賃貸成立が28件、売買成立が24件となっている。

**議員** 新築住宅支援として町有地の分筆等の考えは。

**町長** 今後利用する見込みのない土地は、資産の有効活用の観点からも空き家バンク、宅地バンクと連携して進めていきたい。



葛巻小学校大運動会

#### 小中学校の配置

**議員** 近隣の自治体では、生徒数減少による統合や協議を行っているケースがあるが、町の構想は。

**町長** 学校の統廃合は、児童生徒に遠距離通学を強いることと、子どもと地域とのつながりが希薄になることから、国の地方創生伴走支援制度の支援官の助言等を踏まえて慎重に検討していく。



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

### 問 少子高齢化時代の町づくりは

### 答 人口減少の中最大限のサービスを

#### 人口減少に伴う葛巻病院の経営

**議員** 少子高齢化により、様々な弊害が生じているが、葛巻病院の経営は。

**町長** 町内唯一の公立医療機関として、一般的な外来診療、入院診療の他、リハビリ、救急、在宅医療サービスを行っている。更に、民間医療機関では提供困難な部門のサービスも担っている。

経営面では、患者総数は平成26年度の4万9051人から6年度には3万5929人となり26・8%の減となっているものの、収益は平成26年度に6億円、6年度は6億3900万円となり、6・3%増となっている一方、医療材料費、全国的な賃上げによる人件費の増加などにより、厳しい条件下にある。地域包括ケア病床の導入による高収益化や訪問看護、訪問リハビリの導入、地域連携室の設置による他院からの患者受け入れ調整等により、町民に信頼いただける病院としての安定的な経営に努めていく。

#### 地域の消防団の定員確保

**議員** 消防団員の確保対策は。

**町長** 消防団員数は平成26年度の312名から6年度は256名となり、10年間で56名の減となっている。

町では、4年度に団員報酬や出動手当等の見直しを行ったほか、消防団が所有する資機材の整備など、処遇改善に努めてきた。引き続き消防団に入団しやすい環境づくりのほか、機能別団員や女性消防団員の確保に努め、地方防災の向上と安全安心な地域づくりに努めていく。



町道の草刈り作業（星野自治会）



部隊訓練を行う消防団員

#### クリーン行動などの自治会活動における参加者の高齢化と参加者数の減少

**議員** 自治会活動への支援は。

**町長** 自治会における地域活動を円滑に進めるため、平成18年度から地域担当職員制度を導入し、円滑な自治会活動をサポートしている。

また、活動を財政面から支援し、自治会館の整備、自治会組織の再編等、その時々ニーズに応じた支援を行っている。

今後の自治会活動については、それぞれの地域において、無理のない範囲で自主的かつ主体的な地域活動を推進していただきたいと考えている。町ではそれぞれの活動に対しての多様なニーズに応じた財政的・人的支援を講じていく。